○名古屋帝國大學構内ノ植物一瞥 （原　寛）

（本文ハ昭和 19 年早春ニ記シタモノデアル。新築間モ無イ生物學教室ハ昭和 20 年戰災ノ爲烏有ニ歸シタガ大學構内ノ植物ハ大部分ソノママ殘ツテ居ル事ト思フ。誠ニ感慨深イモノガアルノデ當時ノ原文ヲ直サズ載セル事ニシタ）。

名古屋市東山公園近クノ丘陵地ニ位置スル名古屋帝國大學デハ本年初メ理學部生物學教室ノ建物モ落成シタ。今後更ニ土地ガ開拓サレルト現在ノ狀態モ可成リ變ツテ來ルノデ，コノ際同大學構内ノ植生ノ一端ヲ記錄シテオキタイト思フ。

丘陵ハ丈ノ低イ赤松林ガ大部ヲ占メテ居テ，植物ノ種類ハ豐富トハ云ヘナイガ關東ノ植物ヲ見馴レタ者ノ目ニハ物珍ラシク感ゼラレルモノガ少クナイ。

先ヅ目ニ付クノハしやくなげ科植物ガ種類モ個體モ多イ事デアル。四月中旬ニナルト先ヅこばのみつばつつじノ紅紫花ガ丘陵ヲ美シク彩ル。個體ガ多イダケニ色々ノ變化ガ觀察サレ，花色モ淡紅色ノモノカラ濃イ紅紫色ノモノ迄アリ，樹蔭ニアルモノハ花色ガ薄ク葯ノ色モ黃色デアルガ，花色ノ濃イモノデハコレニ伴ヒ葯ノ色モ紫色トナル。又稀ニ花柱ノ下部ニ毛ガ散生スル個體モアル。

五月ニ入ルトやまつつじガ咲キ，コレニ續イテもちつつじガ開ク。コノ兩種ハ基準形ニ於テハ全ク異リ容易ニ區別デキルガ，往々自然ノ雜種ガデキテ中間ノ性質ヲ示スノハ頗ル興味ガ深イ。やまつつじハ全ク腺毛ヲ缺キ若枝花梗子房等ニハ伏剛毛ヲ有シ，蕚ハ極メテ小サク卵形デ長サ 3mm 内外，花ハ朱紅色ヲ呈シ香ハナイ。もちつつじハ各部ニ立毛多ク，若枝，花梗，蕚，子房ニハ特ニ腺毛ガ著シク粘リ，蕚ハ線狀披針形デ長サ 2cm ニ達シ，花ハ淡紅紫色デ甘イ芳香ガアリ，やまつつじヨリハ花期ガ遲ク，往々返リ咲ヲスル。雄蕊ハ何レモ五本デアル。構内デハ處々ニ色々ナ中間的性質ヲ示ス個體ガ見ラレ，或ルモノハやまつつじニ近イガ花ハ紅紫色デ芳香ガアリ蕚ハ大形トナリ，又或ルモノハ毛ノ性質ハもちつつじニ似テ花色濃ク蕚ハ短カク 1cm 許デアル等極メテ多形デアル。コレ等ハ何レモやまつつじトもちつつじノ自然雜種ト考ヘラレ，一括シテみやこつつじ（*Rhododendron tectum* KOIDZUMI）ト呼ンデヨイト思フ。凡テノ點デやまつつじニ近ク唯花ノ紅紫色ノモノハむらさきやまつつじ（*R. Kaempferi* var. *mikawanum* MAKINO）ト云ハレルガ，コレハやまつつじノ單ナル色變リノ一品ト考ヘルベキカ，又コノ形ガやまつつじヨリ少シク遲ク咲ク事ガ多イ點ヤ產地ヲ考慮スレバ或ハ雜種トシテ少シクもちつつじノ形質ヲ受ケタモノデハナイカト思フ。又もちつつじニモ花色ガ淡紅色ノモノヤ濃イ紅紫色ヲ呈スル個體ガアリ，コレモ色變リカ雜種カ注意ヲ要スル問題デアラウ。

しやくなげ科ノモノニハ其他かくみのすのき，ねぢき，なつはぜ，しやしやんぼガアル。以上ノ内こばのみつばつつじ，もちつつじ，かくみのすのきハ明カニ西部日本要素デ，こばのみつばつつじハ三河以東デみつばつつじニ置換ヘラレ，もちつつじハ伊豆ニ稀ニ產スルガ大體富士川以東ニハ自生シナイ。大學構内デハかくみのすのきノ果實ノ有

毛ナ形即チけうすのきモ交ツテ居ル。

コノ外丘陵地ニハねずノ匐伏性ノモノガ多ク，春ニハざいふりぼくノ白花ガ美シク，次イデこばのがまずみ，おほかまつか，かまつか，うらじろのき，きみずみ，あづきなし，つくばねうつぎ，さはふたぎ，あをはだ，えごのき，がまずみ，うめもどき，むらさきしきぶ等ノ木ガ開花スル。處々ニあらかし，そよご，ねづみもち，ひさかき等ノ常綠樹ヤこなら，くぬぎ，くり，たかのつめ，あかめがしは，くさぎ等ガアリ，又ふぢガ絡マリ，路傍ニハこばのてりはのいばら，やまはぎ，さるまめガ多イ。又こしだノ生エテ居ル場所モアル。關東デハ山地ニノミ產スルみやまがまずみガアリ，くちなしノ自生モ見ラレル。

低イ土地ニハいそのきが多ク，又自生ノやまなしが數本殘ツテ居タ。コノ附近ニハさはふたぎニ接シテくろみのにしごりノ多イノハ注目サレル。後者ハ若枝花軸等全ク無毛デ粉白ヲ帶ビ，葉モヨリ滑澤デ無毛，下面主脈ノ分岐點ニ徵毛ヲ有スルノミデアルガ時ニ中肋下部ニ沿ヒ軟毛ヲ有スル個體ガアリ上半部ニハ低平ナ又ハ銳イ鋸齒ガアリ，果實ハ紫色ヲ帶ビタ黑色ニ熟シ，花期ハさはふたぎヨリ約半ケ月遲ク明カニ別種デアル。樹皮ハ若イ時ニハ櫻皮狀デアルガ老イルト縱ニ不規則ニ細裂スル。黑果ヲ有スル系統中デモ尾張美濃三河地方モノハ特ニ毛ガ少ク，牧野博士ノ *Symplocos paniculata* var. *glabra* MAKINO ニ當リ，獨立種トシテヨイカモ知レナイ。

下草ハ頗ル貧弱デ，やぶかうじ，いちやくさう，かうやぼうき，ほそばたちしほで，きそぢのかんあふひ，ししがしら等ノ生エテ居ル處ガアル。

秋ニハねぢき，はぜのき，ぬるで等ノ紅葉，うめもどきノ紅果，きみずみノ黃果等ガ美シイ。

丘陵ノ間ニハ可成リ廣イ低濕地ガアツテ名古屋近郊ノ好採集地ノ一デアツタラシイガ，今ハソノ大部分ガ埋立テラレ昔ノ面影ガナイ。現在生物學敎室ヤ工學部ノ建物ガアル場所ヤ鏡池ノ東岸ニハみくりがや，みかはたぬきも，ごましほほしくさ等ガアツタ由デアルガ全ク現場ガ變更サレ，鏡池ノ邊ニハくろぐわゐ，しかくゐ等ガ僅カニ餘喘ヲ保ツテハ居ルガコレモ遠カラズ絕滅ノ運命ニアル，

一部ノ水分多ク未ダ笹ノ入込ンデ居ナイ場所ニハ水苔ガ見ラレ，すゐらん，ほそばのさはひよどり，ありのたふぐさ，もうせんごけ，みそはぎ，さはぎきやう，こまつかさすすき，あをがうそ，やちかはずすげ，あぜすげ，のげかものはし等ガ生エテ居ル。

沼澤ハ殆ド乾上ツテシマツタガ谷ノ上部ニ小サイ池ガ一ツ殘ツテ居テココダケハ以前ノ面影ヲ偲バセテクレルノハ誠ニ嬉シイ。コノ池ノ邊ニハ淡紅花ヲ開クこもうせんごけ，白花ノもうせんごけ，夏秋ニ黃花ヲ着ケルみみかきぐさ，紫花ヲ開クほざきのみみかきぐさガアル。ほざきのみみかきぐさハ發育惡ク，ソノ名ニ似合ハズ僅カニ一二花ヲ着ケテ居ルノガ見ラレル。生物學敎室ノ直グ傍ニハいしもちさうノ群落ガアリ，コノ樣ニ構內ニ自生ノ食蟲植物五種ヲ持ツテ居ル大學ハ他ニハ無イデアラウ。ソノ他池ノ周邊ニハ

いぬのひげ，ほそかうがいぜきしよう，ほたるゐ，いぬのはなひげ，はるりんだう等ガアリ，水邊ニたちもガ生エテ居ル。

六月ニコノ池ヲ訪レルト池中ニ白色ト黃色ノ花ガ點々ト咲イテ居ル。白花ハひつじぐさデアルガ花ハ徑一寸許ノ小形ノモノデひめひつじぐさヲ思ハセル。黃花ハかはほねラシイガ葉ガ見當ラナイ。ヨク見ルトひつじぐさノ葉ニ交ツテ同ジク水ニ浮イタソレラシイ葉ガアリ，コレハひめかはほねデアルト分ツタ。コノ池及ビソノ附近ダケハ是非大切ニ保護シタイモノデアル。

名古屋附近ハ丁度關東系ト關西系ノ植物ガ入交ル場所デアリ，又寒地性ト暖地性植物ノ混淆シテ居ル所デモアルノデ面白イ。

○安徽ノ *Daphne* ニツイテ （前川文夫）

Daphne sect. *Daphnanthes* MEISSNER in DC, Prodr. 14 : 532 (1857), KEISSLER in ENGLER Bot. Jahr. 25 : 32 (1898)ニハ葉ハ肉厚ノ常綠デ，花序ハ莖頂ニ出ルぢんちやうげ型ノモノガ集ツテ居ル。安徽省ニハコノ型ノモノハ3種類アツタ。

1ツハぢんちやうげ (*Daphne odora* THUNB.) デ人家ヤ寺院ニ植エテ居ルガ日本ノ樣ニ普及シテハ居ナイ樣デアル。ソレ程個體ヲ多ク見ナカツタ。

2ツハ *D. odora* var. *atrocaulis* REHD. トイハレルモノデアル。貴池縣家岑ノ淺山中ノ溪畔デ見タトキニハ1月下旬デアツタガ蕾モ太クナリ，早イモノハ僅カニ綻ビテ淡黃白色ヲ呈シ芳香ガアツタ。葉ハ長橢圓狀倒披針形デ鋭尖シ，花蓋ハ外面ニ偃毛ヲ生ジ，花序ノ軸ノ下部ヲナス短カイ部分ニハ薄イ毛ガアルガ一年以上經テバ脱落スル（ぢんちやうげデハ三年經ツテモ猶ホ毛ガ充分ニ殘ツテ居テ花梗ノ殘リガ吸盤樣ニ多數突起シタノト一緒ニナリ，光澤無毛ノ尋常枝ノ部分ガ2—3岐シタ中央ニ前年枝ノ莖頂ニ明瞭ニ存在スルノガ著シイ）。花冠ハ細ク裂片ハ三角狀長卵形デぢんちやうげノ如ク筒ヨリ濶ク擴ガルコトナクソノ長サハ筒ノ$\frac{1}{2}$内外デ淡黃白色，枝ハ黑褐色デ分枝ハ稍疎デアル。コノ特徵ハ花色ノ點ヲ除ケバ本邦產ノこせうのきニモ當テハマル，REHDER ハ莖ノ色ト苞片ノ脱落スルコトトデこせうのきト區別シタガ，コレハ恐ラクこせうのきノ本體ヲ知ラナカツタタメデ何等區別トハナラナイ。花色ハこせうのきデハ始メハ白色デアルガ暫クスルト黃色味ヲ帶ビルコトハきんぎんぼくやくちなしニ等シイガ，中國本部デハコノ點デハジメカラ僅カナガラモ着色ガアツテ全然同ジデハナイノデこせうのきノ地理的變種ト考ヘル。臺灣ノ山地ニハたいわんぢんちやうげ (*D. taiwaniana* MASAMUNE) ガアルガ原著者ノ擧ゲラレタぢんちやうげトノ區別ハこせうのきトぢんちやうげトノ區別ニ概當スルシ，標本デモ確カニ同ジデアリ，既ニ金平，初島兩博士ハ上記ノ var. *atrocaulis* ニ同定サレタ。著者モコレニ賛成デアリ更ニ一歩進メテこせうのきノ變種ニ同定シ種トシテハソノ分布ガ本州東海道（安房清澄山）以西，四國，九州ノ低地淺山カラ濟州島，安徽，湖北，湖南，四川，南方デハ臺灣中部及北部ニ及ブ一ツノ分布型（コレヲ私ハ周東海要素 (**peri-tunghai element**) ト呼ビタイ）ヲ示スモノト考ヘ